

まつぼっくり



宇城市立三角小学校
学校だより 第45号
文責 校長 西村羊治
令和7年10月21日

学校教育目標「支え合い・学び合い、多様な達成感を体感し、ふるさとを愛する児童の育成」

万田抗（世界遺産）「万田小との交流」

三角町には世界遺産があります。三角西港です。三角西港が世界遺産に登録されて今年で10年目を向かえます。

巨大ウインチ



荒尾の万田抗から採掘された石炭を三角西港に運搬し、三角西港から外国へ輸出していました。日本の文明開化を支えた施設と言えるでしょう。このことが評価され、10年前に万田抗と共に世界遺産への登録が決まったといういきさつです。この様なこ

ともあり、数年前から荒尾市立万田小学校と本校とで交流学习をしています。「本校の6年生が万田抗へ行き万田小6年生のガイドを聞きながら見学をする。万田小6年生に三角西港に来てもらい本校6年生がガイドをし見学してもらう。」というのが主な内容です。



班ごとの顔合わせ



巨大歯車



坑道内

運搬電車 動きます



グループで記念撮影

石炭



お風呂 ゆぶね2つ



全員で記念撮影



今年度も今月の3日に万田抗に行き、万田抗の見学はもちろん万田小との交流もできました。当時のものが残っていて大きなウインチや歯車、鉄製のロープ、運搬用の電車など。今では化石燃料である石炭の消費は地球の温暖化につながるということで、世界的にも使用が減ってきていますが、当時はなくてはならないものであったのです。黒いダイヤと言われる所以もそこにあると思います。先人の方々の知恵と努力を結集させ万田抗や西港が栄えたわけですから。このことを正しく理解し、荒尾と三角の遺産を守っていく必要があると思います。11月末には万田小6年生をお迎えし、三角西港を紹介する予定です。6年生はしっかり勉強し地元の文化を丁寧に紹介してくれることでしょう。